別紙２

令和８年度どさん子元気アップチャレンジ「ダブルダッチ全道大会」実施要項
（令和８年５月 29 日　学校教育局健康・体育課長決定）

1　目的
児童生徒が手軽な運動の実践を通して、運動に親しみながら体力の向上を図るとともに、仲間と協力して運動に取り組む中で、主体的に楽しさや喜びを味わおうとする態度を身に付ける。

2　対象
道内の公立小学校及び中学校、義務教育学校（前・後期課程）、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校（小学部、中学部）に在籍する児童生徒

3　実施種目
(1)「一人でトライ」
(2)「みんなでトライ」

4　実施内容
学校での学級や学年、異学年集団等による取組における記録を競う「学校部門」と、地域や少年団、部活動等での取組における記録を競う「地域・部活動等部門」の２部門を設定して実施する。

5　実施方法等
(1)「一人でトライ」
ア　実施方法
・ロープを回す人は児童生徒のほか、教職員等も可とする。
・「はじめ」の合図で跳び始め、**60 秒間**経過した時点で「終わり」の合図をする。
※ロープに入るまでの時間を含めて計測する。
・「終わり」の合図をした時点までの、跳躍に成功した回数の合計を記録する。
※失敗しても時間内は続けて行うことができ、失敗以降の回数も加算してカウントする。

イ　記録
跳んだ回数の合計を記録とする。

＜「一人でトライ」説明動画＞
https://www.youtube.com/watch?v=dncjjRZfUqY&feature=youtu.be

(2)「みんなでトライ」
ア　実施方法
・同学年または異学年３人以上（跳ぶ人）でチームをつくる。なお、ロープを回す人はチーム以外の児童生徒のほか、教職員等も可とする。
・ロープの外で待機し、「はじめ」の合図で１人ずつにロープに入り跳び始める。
※ロープに入るまでの時間を含めて計測する。
・３回以上跳躍したらロープから抜け、次の人がロープに入る。
・**60 秒間**経過した時点で「終わり」の合図をする。
・「終わり」の合図をした時点までに、３回以上跳躍をしてから抜けた人数の合計を記録する。
※失敗しても時間内は続けて行うことができ、失敗以降の人数も加算してカウントする。

イ　記録
３回以上跳躍をしてから抜けた人数の合計を記録とする。

＜「みんなでトライ」説明動画＞
https://www.youtube.com/watch?v=QvDWgky1y_0&feature=youtu.be

6　実施期間（「学校部門」・「地域・部活動等部門」ともに）
令和８年６月５日（金）～令和９年１月 29 日（金）

7　記録の申告方法
【学校部門】
・教職員の立ち会いのもとに実施されたものを公式記録とし、教職員が申告する。
・申告は１回のみとする。年間を通した体力向上の取組などにおいて本事業を活用する際は、学校におい

て実施期間の記録を蓄積し、最もよい記録を申告することに留意する。
・記録の申告は、「一人でトライ」においては、「様式４」の記録申告用紙に学校名、学年、氏名、登録名など、「みんなでトライ」においては、「様式５」の記録申告用紙に学校名、区分（小１、小２、小３、小４、小５、小６、中１、中２、中３、小：学年混合、中：学年混合）、チーム名など、必要事項を入力し、電子メールに添付して指定のアドレスに送信する。

【地域・部活動等部門】
・保護者やコーチ等の立ち会いのもとに実施されたものを公式記録とし、保護者やコーチ等が申告する。
・申告は１回のみとする。年間を通した体力向上の取組などにおいて本事業を活用する際は、地域や学校等において実施期間の記録を蓄積し、最もよい記録を申告することに留意する。
・記録の申告は、「一人でトライ」においては、「様式６」の記録申告用紙に学校名や学年、氏名、登録名など、「みんなでトライ」においては、「様式７」の記録申告用紙に、学校名やチーム名、チームの概要（例：○○○少年団、○○○部、○○○町内会、地域の小学校第５学年２名・小学校第６学年３名など）など、必要事項を入力し、電子メールに添付して指定のアドレスに送信する。

８　記録の申告期間
令和９年２月１日（月）～２月 12 日（金）

９　記録の申告先
次のアドレスあてメールにより申告する。　　（ｴﾙｼﾞｰ）
申告先アドレス：**kyoiku.sports1@pref.hokkaido.lg.jp**

10　記録証等
【学校部門】
・小学校低学年（第１・２学年）、中学年（第３・４学年）、高学年（第５・６学年）、中学校（第１～３学年）、学年混合（小・中学校）の部ごとに、３位までのチームに記録証を授与する。
・健康・体育課は、申告のあったデータをもとに上位チーム者の記録証を作成し、当該市町村教育委員会に送付する。

【地域・部活動等部門】
・小学校（第１～６学年）及び中学校（第１～３学年）の部ごとに、３位までのチームに記録証を授与する。
・健康・体育課は、申告のあったデータをもとに上位チーム者の記録証を作成し、当該市町村教育委員会に送付する。

11　記録の公表
【学校部門】
・「ダブルダッチ全道大会」に申告された区分及び記録に基づき、小学校低学年（第１・２学年）、中学年（第３・４学年）、高学年（第５・６学年）、中学校（第１～３学年）、学年混合（小学校、中学校）の区分で健康・体育課のＷｅｂページに公表する。

【地域・部活動等部門】
・「ダブルダッチ全道大会」に申告された区分及び記録に基づき、小学校（第１～６学年）及び中学校（第１～３学年）の区分で健康・体育課のＷｅｂページに公表する。
・「ダブルダッチ全道大会」で公表する内容は、「学校名」、「学年」、「チーム名」、「記録」等とする。

12　その他
・実施に当たっては、児童生徒の健康状態を十分に確認するとともに、準備運動、実施場所や施設・用具の安全点検を確実に行うなど、事故防止に努める。
・使用するロープの長さや種類は自由とする。
・児童生徒が楽しみながら、自主的・継続的に取り組むことができるよう配慮する。
・各種目ともに学校部門は教職員等、地域・部活動等部門は保護者やコーチ等の立ち会いのもとに実施することを基本とする。ただし、やむを得ず児童生徒が計測する際には、時間や回数のカウントの誤りに留意させること。
・チーム名は公表を前提としていることから、学校等において適切な指導のもと設定する。